

日本サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医制度規則

第1章 総則

第1条 日本サイコオンコロジー学会は、がん患者とその家族の診療に誠意をもってあたる臨床医を養成し、良質の医療を提供することを目的として、登録精神腫瘍医を設ける。

第2条 日本サイコオンコロジー学会（以下、本学会）は、前条の目的を達成するため、本学会登録精神腫瘍医（以下、登録医）の制度を設け、その運用は登録医制度委員会（以下「制度委員会」）が行う。

第2章 登録医制度委員会

第3条 登録医の認定並びに資格更新の審査業務のために登録医制度委員会を設置する。

1. 登録医制度委員会の委員は、理事会が選出し、代表理事が委嘱する。
2. 登録医制度委員会には、委員長1名、副委員長1名、委員若干名を置く。
3. 委員長は、委員の互選により選出する。

第4条 委員の任期は3年とし、再任を妨げない。

第3章 登録医の資格

第5条 登録医認定の審査を希望するものは、精神腫瘍医として、がん患者及びその家族の精神心理的な苦痛の軽減および療養生活の質の向上を目的とし、薬物療法のみならず、がんに関連する苦悩などに耳を傾ける等、専門的知識、技能、態度を用いて、誠意をもった診療に積極的にあたることに加え、次の各項の条件をすべて満たさなければならない。

1. 日本国の医師免許証を有すること。
2. がん医療に従事した経験を計3年以上（形態は問わない。例：週1度の非常勤でも可）有する、精神科医、心療内科医であること。
3. 本学会の会員歴を3年以上有すること（過去の会員歴も有効とする）。
4. 日本サイコオンコロジー学会主催の講習会に、最低1回は参加したことがあること（2006年以降に開催されたものに参加していれば、これも認める。該当する講習会は別に細則に記載する。）。
5. 患者、家族が受診した場合には、誠意をもって対応するという意思表示として、原則、学会のホームページへの氏名、所属施設名の掲載を承諾すること。
6. 精神腫瘍医として担当した患者または家族、計30症例（過去5年以内の症例を有効とする）のリストを提出すること。
7. 精神腫瘍医として担当したケースにつき、3例のレポートを提出し、審査に合格すること。

第4章 登録医の認定

第6条 登録医認定の審査を希望するものは、別に細則に則って制度委員会に提出しなければならない。

第7条 登録医認定の審査は、登録医制度委員会が行い、理事会が承認する。

第8条 登録医認定の審査結果は、代議員総会、学会ニューズレター、ホームページなどにおいて公示する。

第9条 本学会理事長は、登録医認定審査合格者に対して登録医証を交付する。

第5章 登録医の認定更新

第10条 登録医の認定は、5年ごとに更新するものとする。

第11条 登録医の認定更新を希望するものは、別に細則に則って制度委員会に提出しなければならない。

第12条 登録医認定更新の審査は、登録医制度委員会が行い、理事会が承認する。

第13条 登録医認定更新の審査結果は、代議員総会、学会ニューズレター、ホームページなどにおいて公示する。

第14条 本学会代表理事は、登録医認定更新審査合格者に対して登録医証を交付する。

第6章 登録医の取消

第15条 登録医は、次の理由により、登録医制度委員会および理事会の議決を経て、その資格を喪失する。

1. 正当な理由を付して登録医としての資格を辞退したとき。
2. 本学会の会則に従って、本学会会員の資格を喪失したとき。
3. 申請書類に虚偽などが認められたとき。
4. 登録医の認定更新を行わなかったとき。

第16条 本学会代表理事は、登録医として不適切な行為のあったものに対して、登録医制度

委員会および理事会の議決を経て、登録医の資格を取り消すことができる。

付 則

第1条 本規則は、平成21年12月1日から施行する。

第2条 本規則の施行に関する細則は別に定める。

日本サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医制度施行細則

第1条 日本サイコオンコロジー学会登録精神腫瘍医制度の施行に関し、規則に定められた以外の事項については、本細則に従うものとする。

第2条 登録医制度委員会の事務は、日本サイコオンコロジー学会事務局において行う。

第3条 登録精神腫瘍医の資格申請をする者は、次の各号に定める申請書類の正本各1通及びコピー2通の合計3通を書留郵便にて登録医制度委員会まで郵送しなければならない。

1. 登録医認定申請書（様式1）。
2. 履歴書（様式2）。略歴に精神科医、心療内科医としての勤務実態がわかるように、施設のみでなく、診療科名を明記すること。
3. 医師免許証（写し）。
4. 日本サイコオンコロジー学会主催の講習会への参加証（写し）（2008年以前の開催分の受講者は受講記録が事務局に保存されているのでその旨を記載のこと）。
5. 学会のホームページへの氏名、所属施設名の掲載承諾書（様式3）。
6. 精神腫瘍医として担当した患者または家族の症例リスト（計30症例、過去5年以内の症例を有効とする）（様式4）。30症例に関しては年齢、性別、がんの種類、精神医学的な診断名（DSMでもICDでも可。正常反応の場合はその旨を記載する。）を記載すること。
7. 精神腫瘍医として担当したがん患者3例（過去5年以内の症例を有効とする）のケースレポート（様式5を表紙として使用し、左上肩をホッチキスでとめる）。3例は、適応障害、うつ病（大うつ病）、せん妄を各々1例ずつとする（細則6の症例リストに含まれるケースでよい）。ワープロを使用し、文字の大きさは10-12ポイント、A4用紙を縦にして横書きで1頁40字×30行程度とする。字数は1500-2000字程度とする。ケースレポートに含める内容は、[症例]、[既往歴]、[現病歴]、[初診時所見、診断とその根拠]、[治療方針]、[治療経過]、[考察]を必須とし、必要に応じて、[生育歴]、[家族歴]、[主訴]、[病前性格]、[チーム医療における精神腫瘍医としての役割]、[家族へのサポート]等を追加する。プライバシーに配慮し、適宜、背景情報などを変更すること。がん患者、家族の診療に従事する精神腫瘍医としてふさわしい姿勢が重視されるので、患者に対する身体・心理・社会・倫理的側面を総合的に考慮した内容が求められる。なおケースレポートについては、独立した2名の審査員による審査に合格する必要がある（審査員から加筆、訂正を求められた場合には、適宜対応すること）。
8. 審査料振込証明書（写し）。

第4条 すべての審査は、申請年度の年度末までに終了する。

第5条 すべての審査結果は、本学会代議員総会、学会ニューズレターおよびホームページなどにおいて公示する。

申請資格

1. がん医療に従事した経験を計 3 年以上（形態は問わない。例：週 1 度の非常勤でも可）有する、精神科医、心療内科医であること
2. 本学会の会員歴を 3 年以上有すること（過去の会員歴も有効とする）
3. 日本サイコオンコロジー学会主催の講習会に、最低1回は参加したことがあること。
2006 -2009に開催されたものについては、以下の5回の講習会が該当。
サイコオンコロジストのための講習会 2006年3月4日（東京）
サイコオンコロジストのための講習会 2006年6月10日（京都）
サイコオンコロジー研修会2007（精神科医・医療従事者対象） 2007年11月29日（札幌）
サイコオンコロジー研修会2008（医療従事者対象） 2008年10月11日（東京）
サイコオンコロジー研修会2009（精神科医・医療従事者対象） 2009年9月30日（広島）

4. レポート審査

精神腫瘍医として担当したケースにつき、3例のレポート（診断、治療、がん治療における精神症状の位置づけ等を記載する。）を提出する。レポートには、必要に応じて、精神療法あるいは薬物療法に関する治療方針やその結果を明記すること。なお、3例は、適応障害、うつ病（大うつ病）、せん妄を各々1例ずつとする。審査は、2人の査読者が独立して評価し、両者双方の合格を必要とする。

第6条 登録医の認定更新などの申請

登録精神腫瘍医の認定更新の申請をする者は、次の各号に定める申請書類の正本各1 通及びコピー2 通の合計3 通を更新年度の3月末までに書留郵便にて登録医制度委員会まで郵送しなければならない。認定更新は毎年9月1日をもって開始とする。なお、資格更新に際しては、資格取得後から継続して本学会の会員であることが必要である。

1. 登録医認定更新申請書（様式6）。
2. 履歴書（様式2）。
3. 登録医証（写し）。
4. 学会への出席または筆頭での学会発表または講習会の参加を計 3 回以上行ったことを証明する資料（そのうちの 1 回は、講習会への参加を必須とする。例：学会と講習会に出席し、筆頭で発表すれば 1 年で可。また講習会のみ 3 回の参加でも可。）
5. がん患者、家族の診療リスト（更新前5年以内の30例）（様式4）。
6. 更新料振込証明書（写し）。

第7条 登録医審査料，登録医認定料，登録医更新料は次のとおりとする。

1. 登録医審査料 10,000 円
2. 登録医認定料 10,000 円
3. 登録医更新料 10,000 円